

やばば

議会だより

214
2020.10.16
岩手県
矢巾町議会



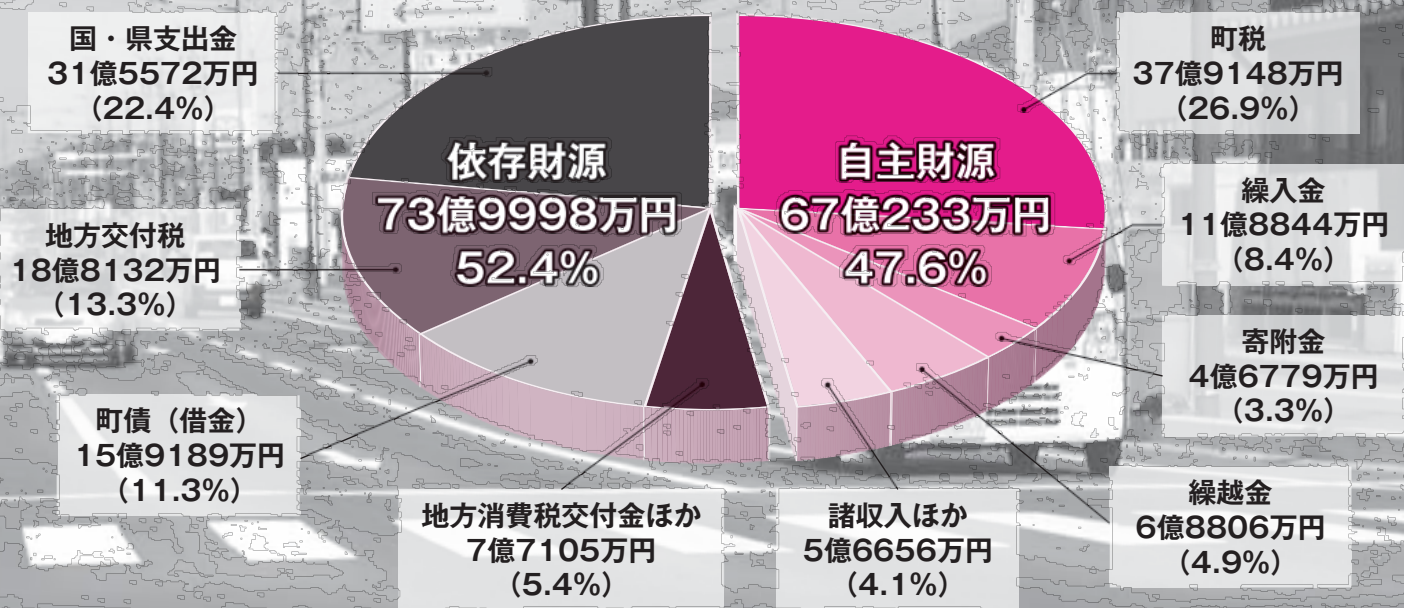
令和元年度決算審査 変わりゆく医大前通り	2
予算決算常任委員会 会派代表質疑 主要事業の有効性は	6
一般質問 町政を問う 旧矢中跡地を農業公園に 一般質問10議員 ...	16

矢巾中学校大運動会
(関連記事...P28)

医大前通り

定例会9月会議は9月1日から17日までの17日間行われ、令和元年度の決算を中心に補正予算などを審議しました。審議の結果すべての議案を原案のとおり認定・可決・同意しました。

入ってきたお金
一般会計 歳入 141億231万円



- 【歳入】**
- 自主財源**
町がみなさんから集めたお金
 - 依存財源**
国や県からもらえるお金
 - 繰入金**
町の基金(貯金)から取り崩して繰り入れたお金
 - 繰越金**
前年度から繰り越したお金

町の主要事業を行うための一般会計の歳入は、前年度比1・4%増の約141億231万円となりました。

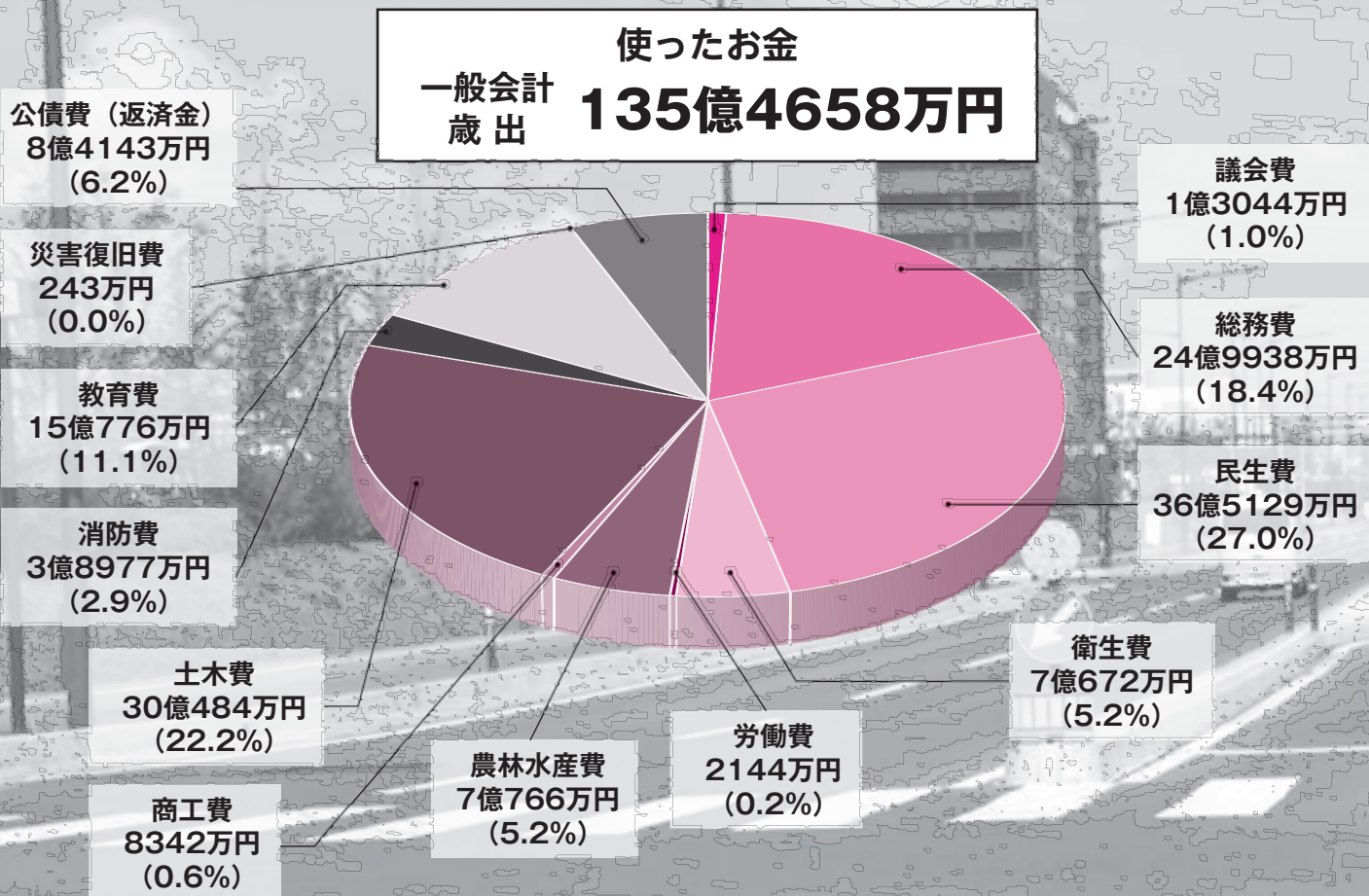
自主財源である町税は歳入全体の約26・9%を占め、前年度比で約75・79万円の増収となり、依存財源である国庫支出

金は、前年度比で約1億8475万円の増となりました。国庫支出金の内訳は土木費が減少し民生費及び教育費が大幅に増加したものです。財産収入は前年度比100・2%増で、主に町有地の土地売り払いによる収入となっています。

歳入

令和元年度決算審査

変わりゆく



【歳出】

総務費

庁舎、財産等の維持管理等の経費

民生費

児童手当や高齢者、障がい者など、福祉のための経費

衛生費

予防接種・検診・ゴミ処理などの経費

公債費

町が借りたお金の返済金

一般会計の歳出は、前年度比2・4%増の約135億4658万円となりました。教育費は前年度比55・1%増の約15億776万円となり、主に小中学校のエアコン設置や田園ホールのトイレ洋式化、町公民館・田園ホール外壁改修工事などに支出されました。そのほか民生

費はプレミアム付商品券事業や障害者の自立支援事業などに支出され、土木費は町道中央1号線道路改良工事や東北本線上杉踏切拡幅による工事負担金に支出されました。一方総務費では、ふるさと納税の寄附金が減少したため返礼品の支出も約5億8000万円減少しました。

歳出

4～5ページのとおりです。
特別会計・企業会計については

令和元年度決算 特別会計…扶助費増加を抑制

【決算額は1万円未満四捨五入】

国民健康保険事業特別会計

歳入 **24億 5873万円**

前年度比
1.6%減

歳出 **24億 3585万円**

前年度比
0.5%減

被保険者数が減少しているため、歳入が減少しています。歳出は医療給付費などに使われました。

被保険者(4,969人)
1人当たり
49万 209円

介護保険事業特別会計

歳入 **23億 6390万円**

前年度比
6.5%増

歳出 **22億 3338万円**

前年度比
8.4%増

65歳以上の方等の介護サービス給付費・予防事業に使われました。歳出のうち各サービス給付費が20億5275万円でした。

被保険者(7,069人)
1人当たり
31万 5940円

後期高齢者医療特別会計

歳入 **2億 1450万円**

前年度比
2.9%増

歳出 **2億 1436万円**

前年度比
4.3%増

歳出のうち約2億円は保険給付事業を行う岩手県後期高齢者医療広域連合への納付金です。納付金は75歳以上の方等の医療給付費などに使われます。

被保険者(3,295人)
1人当たり
6万 5056円

矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

歳入 **7億 7658万円**

前年度比
17.2%増

歳出 **7億 7322万円**

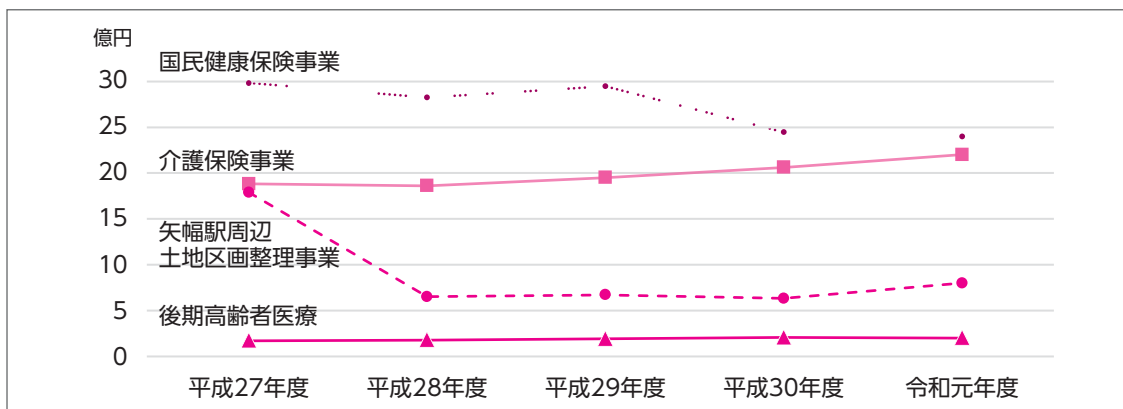
前年度比
22.2%増

やはば一くの運営費や換地処分に係る費用に使われました。令和元年度差引額(剰余金)は令和2年度一般会計に繰り入れされます。

町民(2万 7,227人)
1人当たり
2万 8399円

※ 1人あたりの金額は、令和2年3月末の人数から算出しました。

特別会計決算額(歳出)の推移



企業会計…流通センター地区を組み込む

企業会計		収入	支出	収入支出差引額
水道事業会計	収益的	8億 6968万円	6億 901万円	2億 6067万円
	資本的	3億 1696万円	6億 8705万円	△3億 7009万円
下水道事業会計	収益的	14億 546万円	10億 1220万円	3億 9326万円
	資本的	2億 4182万円	6億 6861万円	△4億 2679万円

【用語解説】

収益的収入および支出

水道水の供給や汚水の処理に使用するための収入や収支

資本的収入および支出

施設の新設や再整備に使用するための収入や収支

実質収支

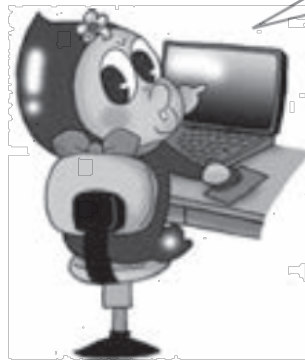
収入と支出の実質的な差

有収率

供給水量に対する使用水量の割合

不明水

下水道管の壊れたところから入ってくる地下水や雨水など



水道事業、下水道事業の資本的収支で、収入が支出に不足する額は、減価償却などの現金の支出を伴わない損益勘定留保資金等で補てんしているジャ。

監査意見

佐々木良隆 委員
長谷川和男 委員

効率的かつ効果的な行政運営を

令和元年度の決算状況について、一般会計と4特別会計は、全ての会計において黒字決算となっており、実質収支額は、合わせて約6億2525万円を計上していることから、健全な財政運営が確保されたと認められる。今後も引き続き効率的な財政運営が行われることを期待する。

水道会計は、黒字基調で推移し健全な経営と言える。有収率も95・31%と経営指標80・05%を大きく上回っているが、今後も計画的な水道管と設備の更新に努められたい。下水道事業会計は、有

収率は前年度から0・8%上昇しているが公共下水道事業、農業集落排水事業とも経営指標を下回っていることから、引き続き不明水対策と中長期的な視点からの経営健全化を望む。

地方交付税等の依存財源や財政調整基金が減少傾向にあることから、引き続き財政運営は厳しい状況が続くものと予想される。今年度からの総合計画後期基本計画においては、限られた財源の中で効率的かつ効果的な行政運営を行い、住民福祉向上に寄与されるよう強く望む。

業の有効性は

町議会の代表質疑では、会派を代表した議員が主に決算に対して質問を行います。
9月議会では令和元年度決算に対し3会派から代表質疑が行われました。

ふるさと納税返礼品と

特産品開発は



町民の会
水本 淳一 議員

質問 返礼品の総数と取り組んでいる業者の状況は。

回答 返礼品数は334品。40事業者が取り組み、そのうち町内は26事業者である。

質問 特産品開発状況は。

回答 矢巾町観光開発株式会社と締結し、「ぎくらの佃煮」と「野菜だし」を開発中。「さんざジュース」と「矢巾おでんレトルト」のリニューアルにも取り組んでいる。昨年度から特産品開発事業補助金交付要綱を制定し支援を図っており、実績として、

喜助堂の「秘伝豆のチョコビスケット」が開発された。

質問 ふるさと納税を活用し新型コロナウイルスの影響を受けている事業者・生産者の支援策は考えているか。

回答 家賃補助や利子・保証料の補給を実施している。今後は、ふるさと納税返礼品を含め、事業者・生産者の販路拡大や地域活性化につながる施策の推進を図る。

質問 イセファームの移転に関し、その後の進捗状況は。また、イセファームの製品を返礼品にする考えは。

回答 現在は施設の改修を図りながら経営を継続する報告を受けている。矢巾町を前面に出した返礼品をブランディングすることで進んでいる。

質問 町内の小学校から大学まで全ての学校に、文化・スポーツ活動を支援する考えは。

回答 小中学校へは、児童生徒の各種大会参加費の補助等を行っている。町内の高校や大学、一般の方から求められる支援などは、各学校や団体の意見を聞きながら進める。

質問 昨年度の音楽のまち事業の内容と今後の取り組みは。

回答 昨年度は、第九の合唱指導など4事業を実施した。今年度は田園ホールで第1回矢巾町音楽祭を開催予定。また、一般の方から寄付された楽器の学校配布や、矢幅駅に誰でも弾くことができるピアノを設置した。

施政方針をもとに

自己評価を



一心会
原 秀一 議員

質問 令和元年度施策方針に基づいた当初予算について、予算ベースでの総括的な振り返りと自己評価を問う。

回答 当初予算としては本町最大の114億5320万円

でスタートし、10回の補正を行い最終的な予算規模は、ふるさと納税の大幅な増額補正を行った平成30年度に次ぐ127億8203万円となった。第7次総合計画の方針に基づき事業のうち、特に、岩手医科大学附属病院の開院に合わせた道路整備など、緊急を要する大規模投資事業を国・県からの補助金や町財政調整基金債、町債などを活用し積極的に実施した。

主要事

会派 代表質疑

質問 地方創生におけるメディカルフィットネス推進事業は、住民の健康寿命の延伸と将来的な医療、介護給付費増加の抑制を図るためだが、現時点での成果を問う。

回答 ウェルベース矢巾は、岩手医科大学に隣接し医療の専門家がいる地域的な優位性を生かし、健康のために運動できる場を提供している。

8月時点での会員登録は403人。健康チャレンジ事業の参加も増加しており、引き続き事業を推進していく。

質問 各まちづくり施策の総合的な自己評価を行いながら、次期後期基本計画に継続すべきであるが、施策に対するPDCAサイクルの見解を問う。

回答 前期基本計画は、各施策の内部評価をまとめた報告書を今後公表し、広く意見を聞く予定である。

新たな課題や修正点があった場合は、PDCAサイクルの手法に従い後期基本計画の内容を検討し、計画変更を行っていく。

町民主役のまちづくり

事業の効果検証問う



矢巾明進会
村松 信一議員

質問 公共施設案内看板の設置状況を伺う。

回答 平成30年度から今年度まで8カ所設置。来年度は2カ所に設置予定である。国道の計画を考慮しながら主要道路への設置を検討して行く。

質問 コミュニティバス・予約型乗合バスの利便性を高めるための今後の課題は何か。

回答 大幅な見直しを行ったが、多くの町民がこの事業を知らないため、引き続き周知徹底に努めていく。

質問 町税等の収納率が県内トップであるが日々心掛けている点は何か。

回答 滞納整理方針を作成し滞納者からの相談や生活状況を良く傾聴し対応するよう心掛けていく。

質問 特産品として「ぎくらの佃煮」「野菜だし」「おでんレトルト」矢巾産大豆使用の「フッキー」を開発したが、評価はどうか。

回答 食味の改善点や価格、商品パッケージに関する意見があった。また、販売先を積極的にPRする意見もあった。

質問 耕作放棄地の解消に向けた取組み状況を伺う。

回答 未相続の農地について相続人全員に通知し改善に向かっていく事例もある。

質問 住宅マスタープラン策定の意義は。

回答 住宅分野に限らず福祉、都市基盤整備に関する施策等他制度や法令との整合性を図り住生活の環境整備に役立つ。

質問 古着・古布の回収を始めたが課題は何か。

回答 コロナウイルス感染症の影響で外国への流通が停滞する恐れがある。

質問 生活困窮者の相談支援後の状況は。

回答 本人のやる気や目的意識の維持、生活課題への対応に、支援者とともに取り組むことが自立に繋がる。関係機関と連携し支援策の充実を図っていく。

質問 なないる保育所の整備状況は。

回答 0歳児、2歳児の保育を行う小規模保育事業所であり、定員を10名から19名に増やした。少人数保育の特性を活かし、きめ細かい保育を実施している。

予算決算常任委員会

まちの7会計を徹底実現

一般会計

財政

質問 基金を有効活用すべきだがどのように運用したか。

回答 債券購入のほか年度途中の繰り替えも念頭に置き、期間を勘案し定期預金等で資金運用している。

質問 ふるさと納税が下がった理由は。

回答 昨年度の制度改正で返礼品が地場産品に見直しになり、地域資源の豊富な自治体に寄付が集まっている。今後の対策として、多くの方の目に留まるよう町の魅力をPRしていく。

総務・防災

質問 インキュベーション施設管理委託の内容は何か。

回答 地方創生拠点施設で矢幅駅東口にある。

起業を希望する方や地域活性化の相談対応、施設管理などを委託している。

質問 地方創生拠点で、創業支援することであったが実際、創業支援に結びついた事例は何件か。

回答 拠点施設での創業支援は5件あった。

職種は、経営コンサルタン、パソコン指導関係、不動産関係、デザイン関係などが起業した。

質問 公共交通のPRは、町内こまめに歩いて住民周知を図って欲しい。

回答 PR不足は認識している。PR動画を作成しており、さらに、わかりやすさに注意し、こまめな周知に努めたい。

質問 コミュニティ施設等補助では、古い公民館からエアコン設置の要望はなかったか。

回答 昨年度は3地区で要望があり設置。今年度も数件要望があり、積極的に進めたい。

質問 昨年度の婚活イベントは2回実施されたが、今後アプリ等を考えてはどうか。

回答 現在コロナ禍だが、3密など回避し、話し合う時間を取って開催したい。

婚活イベントでは直接会うことが重要となる。効果とコスト面で有効であればアプリも考えていきたい。

質問 地域おこし協力隊事業で協力隊の応募はあったか。

回答 PRを積極的に行ったが昨年度は応募がなかった。問い合わせは何件かあるので、PRをしていきたい。

質問 防災ラジオの普及促進の方法は。

回答 高齢者などに防災ラジオの提供を検討して行きたい。



矢幅駅東口にある矢巾町地方創生センター
(愛称は「ハバターク」)

産業・建設

質問 特産品開発事業はどのような内容か。

回答 矢巾観光開発株式会社が「さんさジューズ」のパッケージの一新や「やはばおでん」のレトルト化を行った。

また、新規事業では商品化に向けて、規格外野菜を使った「野菜だし」や「きくらげの佃煮」の開発を進めている。

質問 米消費純増対策事業補助金の内容は。米の消費拡大につながっているのか。

回答 町内小中学校米飯給食の白米代金への助成事業である。数量は2万23367キロで、そのうち銀河のしずくが2492キロ。

最近では各学校を回り給食会で銀河のしずくのPRをしている。

質問 多面的機能支払・共同活動交付金は自治会等と共同して事業実施していると思うが、組織数と活動内容は。

回答 組織数は20組織である。共同活動交付金は水路、農道の軽微な補修や、農村コミュニティを強化する活動を実施する事業。

その他には、地域のさんさ踊りなど文化の伝承活動に活用された。

質問 企業誘致推進事業の実績や状況は。

回答 昨年度の誘致実績はない。今後も土地利用計画など関係課と調整しながら、企業立地奨励制度の周知などを積極的に行っていく。対象業種は製造業、卸売業、運送業、情報サービス業である。

質問 キャンプ場のトイレは洋式化工事で改善されたが、利用者の反応はどうか。

回答 昨年度、トイレを簡易水洗化・洋式化した。近年キャンプ場の利用者が増えており、利便性が良くなったという声をいただいている。

質問 上杉踏切の拡幅工事は完了したが、順次白沢踏切、



老朽化が進む町営住宅

南矢巾踏切と続く。今回の工事でJRとの交渉に反省点があれば、次の工事に活かしていただきたいがどうか。

回答 JRとの協議内容では、すでに歩道がある白沢踏切の拡幅工事は、令和3年度に予定している。通行止め期間は2カ月程度を1回予定

している。

南矢巾踏切の工事は、町道の歩道設置後であるため詳細は未定。今年度は歩道の用地買収を行い、来年度は歩道設置工事を予定している。

なお、町民の利便性を考え、短期間の工事となるようJRと協議していく。

質問 生活道路の改善要望67件の中で古いものはいつ頃か。

回答 昭和58年の土橋地内の要望路線である。道路懇談会を地域で開催し、要望の中で優先順位を決めていただき整備を進めている。

質問 現在、高田住宅は集約化を見据えて新規募集がない状態だが、今後、矢巾住宅も同様の取り扱いになるのか。また、コロナ禍もあり母子家庭など困っている方に対する支援策として町営住宅の役割は大きいと考えるが、その対策は。

回答 募集しない理由は集約化のためだけではない。退去後に次の方を入居させるための修繕に大きな費用を要し、退去後は募集をしておらず多くが空き家となっている。

矢巾住宅は退去後も入居募集しており、母子家庭等の要件によっては抽選の確率を上げるなどの対応している。集約化の方向性が決まったら入居を控えるなど対応を決めていく。

次年度に及ぶ

福祉

質問 生きがい対応型デイサービス事業の内容は。

回答 社会福祉協議会に委託し、おでんせハウスでデイサービス事業を行っている。

対象者は要介護・要支援以外で日常生活に支障のある方。

質問 軽度生活援助事業の内容は。

回答 高齢者の冬期間の除雪作業をシルバー人材センターに委託し、各家庭の玄関から道路まで除雪している。

教育・文化

質問 寄附金で小中学校へ楽器を購入したが、購入した学校は何校か。

また、楽器の種類はどのよ

うになっているのか。

回答 町内6校すべてが購入した。

各学校から要望を聞き、吹奏楽の楽器のほかに太鼓など、それぞれの学校で様々な楽器を購入している。

質問 放課後子ども教室委託の内容は。

回答 学校から帰った子どもたちを集め、サッカーやバスケットなどの遊びを通し健全な育成を図る事業である。

質問 ネット関係のいじめは確認されているのか。また、最近のいじめ傾向は。

回答 ネットによるいじめは昨年度1件確認されている。今年度はオンラインゲームによるトラブル等があり、ネットによる件数は微増傾向である。

国民健康保険会計

質問 ひとり親家庭は様々な支援があるとはいえ、税金の負担も大きく、国保税の子どもの均等割をなくする考えはないか。

回答 子どもの均等割負担軽減策については、国・県に保険料率の統一などと併せ要望している。また、コロナ関係での減免申請も受付している。

企業会計

質問 都市計画事業等組合の解散に伴い町に移管されたが、水道料金の値上げに対し苦情などはあったのか。

回答 従来の料金は維持管理分のみであったが水道管の更



公共下水道に接続される下赤林処理場

新分が若干値上げになった。企業も含め説明会を4回行い、難色もあったが理解をいただき苦情は出ていない。

質問 岩手医大附属病院が開院し周辺に企業も進出しているが、給水能力に影響はあるのか。

回答 令和元年度の医大を含めた給水量は、計画水量に対し70%であり余裕がある。

今後、企業誘致がなされるも影響はないと考える。

質問 集落排水事業で経費回収率が低く、改善が望まれるが考えは。

回答 処理場の利用者が少なく、使用料で維持費をまかなえない状況である。対策として公共下水道に切り替えることで進めており、次年度は下赤林処理場を計画している。

審査報告

予算決算常任委員会委員長 廣田 清美

公共施設の計画的な補修を

次のとおり附帯決議を付して議長へ報告しました。

- 公共施設のアセットマネジメントを早期に確立し、計画的な施設修繕に努められたい。
- 市街地循環バスと予約型乗合バスの運行は、利便性を高める改善と町民へのPRに努められたい。
- ふるさと納税の返礼品・経費等の歳出を精査し、有効活用されたい。
- 街路灯・防犯灯の設置は、企業からの寄贈等も検討し早急に進められたい。
- 自治公民館へのエアコン設置の支援を推進されたい。
- ごみ減量化に向けて、事業系ごみ削減への啓発を。
- 生活道路は提出されている請願・要望等にスピード感を持って対処されたい。
- 河川の浚渫は、一級河川以外についても管理機関と協議を進められたい。
- 交通事故防止のため、標識や信号機等の設置を関係機関へさらに働きかけを。
- 災害時に、高齢者や障がい者の犠牲が出ないよう、防災訓練等を実施・指導強化し、また、防災ラジオの普及拡大にも努められたい。
- 各小中学校の施設設備の修繕を早期に実施されたい。
- 保育士・介護福祉士の養成等の充実にも努められたい。
- 特定検診のさらなる受診率向上に努められたい。
- 水道管の耐震化及び下水道の不明水対策を進め、より一層安定した上下水道事業を推進されたい。

賛成 全体最適を考える

全会計で、差益額や純利益額が計上され財政は健全。小中学校エアコン設置や町道中央1号線道路整備、子育て支援等の事業を評価する。
自主財源比率は、ふるさと納税の寄附額減少により下がったが、今後の積極的な取り組みに期待し「全体最適」の考えから賛成する。
藤原 信悦

賛成 着実な事業運営

全会計において、財政健全化と経営健全化の各指標は定められた基準以内であり、資金不足も生じていない。第7次総合計画実現に向け、事業が着実に進んでいる。
これらの状況を総合的に勘案して、健全な財政運営が認められることから賛成する。
吉田 喜博

賛成 身近な事業を評価

メデイカルフィットネスをはじめとした町民の健康に対する活動により、将来の扶助費の増加抑制を図るなど、身近な事業への取り組みにおいて特筆すべき点が多い。
職員のためまぬ努力の結果として評価する。
村松 信一

討論

表決に付される前に、その案件に対して6名の議員が賛成と反対の意見を表明しました。

反対 予算に見合う効果を

メデイカルフィットネス推進事業において、まだまだ成果は見えず、莫大な予算に見合う効果への期待は大変薄いように感じる。
公共交通事業は、交通弱者に対する効果があり見えず大変問題点が多い。
以上のことから一般会計決算認定に反対する。
昆 秀一

反対 審議に十分な時間を

議会対応に十分な時間が担保されず、各議案審議が2週間程度であり、町民の声が反映されにくい。
事業主体が町内から町外・県外企業に移行する傾向があり、町民と協働のまちづくりが求められる。
以上の考えから決算に反対する。
小川 文子

反対 弱者に寄り添い支援を

消費税率が10%に改正され、景気悪化の悪循環である。国保加入者は低所得者が多く、税金の引き下げと相談業務を兼ねた対応が必要と考える。
長期滞納者の実態調査と弱者の立場に寄り添う支援を望むことから、国民健康保険事業・後期高齢者医療特別会計決算認定にも反対する。
川村 よし子

まちの施設を有効活用

7月会議

条例

一般職員の特殊勤務手当に関する条例一部改正
職員が防疫作業に従事した場合の手当てに関する改正。

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

▽新型コロナウイルス感染症
緊急包括支援事業補助金
750万円

主な歳出

▽乳児特別定額給付金
2200万円
▽修学旅行キャンセル料
342万円

質問 修学旅行の予定は。

回答 矢巾中学校は中止となったが、思い出に残るような行事を3年生が検討中。矢巾北中学校は11月に予定しており、中止も含めて検討中。

また、小学校は10月から11月にかけて仙台方面を予定しているが、感染状況により県内も含め検討中。

9月会議

人事案件

教育委員・固定資産評価審査委員に同意

教育委員
齊藤 学 さん

(再任・東徳田1区)

固定資産評価審査委員

高館 精記 さん

(再任・西徳田2区)

工事請負契約

矢巾SIC関連町道安庭線道路改良その3工事

町道安庭線と県道不動盛岡線の交差点東側を約4895万円で改良工事するものです。工事期間は令和3年3月まで。

条例

新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給等基金条例の制定

岩手県新型コロナウイルス感染症対策資金制度の融資を受ける企業、事業者を対象に利子および保証料を補給するものです。
令和3年度以降の補給金として積立運用。

補正予算

一般会計補正第5・6号
主な内容は次のとおりです。

主な歳入

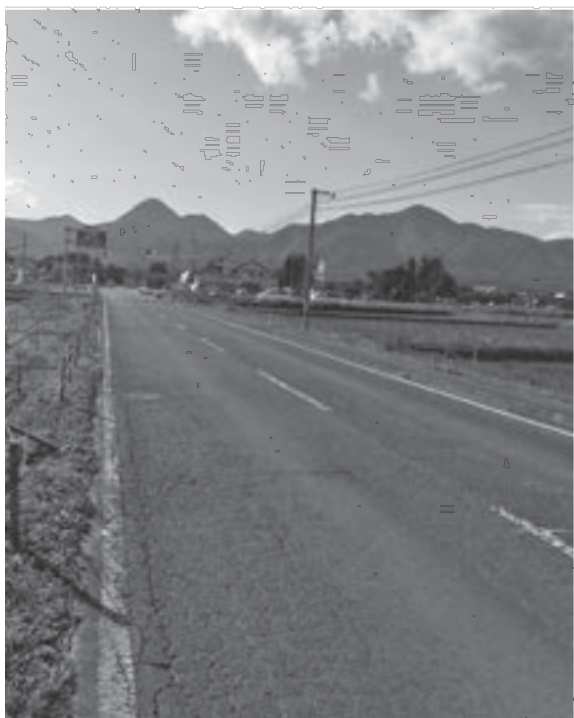
▽普通交付税
4163万円
▽緊急浚渫推進事業債
1000万円

▽臨時財政対策債
1990万円

▽新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金
2億5218万円

▽土地売却収入
1290万円

▽一般寄附金
4190万円



歩道設置や拡幅等の工事を行う町道安庭線

主な歳出

- ▼河川管理事業 1353万円
- ▼町営住宅集約等
- ▼ファイジビリティ調査委託料 △1000万円
- ▼公用車購入費 1730万円
- ▼中小企業振興資金貸付事業 9159万円
- ▼体育施設維持管理事業 8884万円

主な質疑

町営住宅の集約調査

委託料の減額理由は

質問 高田住宅や矢巾住宅を集約化する調査委託業務が減額された理由は。

回答 民間業者と国土交通省が直接契約して進めるモデル事業に採択されたため減額する事になった。

サブ体育館の代替は

質問 改修後はプロバスケットボールチームに貸し出すとのことだが、現在使用してい

る矢巾中学校、矢巾北中学校の部活動に影響はないのか。

回答 部活動について両学校長と話し合いをした。今は指導者も少なく、2校が合同で活動する考えも必要である。2校間での調整はできている。

反対討論

決め方が拙速であり急な対応である。中学生には貴重なサブ体育館が使えなくなる。体育館の改修費用は今後の寄附により集めるという不明瞭な予算編成であることから反対する。

小川 文子

賛成討論

補正予算には、旧アイワ体育館の改修予算も盛り込まれ、本町にプロバスケットボールチームを誘致するためにも必要な予算である。前に進まない事は何もしない事と同じである。子供たちに良い影響を与える可能性もあり必要な予算であることから賛成する。

廣田 清実

南昌グリーンハイツの改修内容は

質問 南昌グリーンハイツの改修経緯とその内容は。

回答 本年6月に企業からの提案で、子どもたちが楽しく

遊べるアスレチック施設にリフォームする検討をした。改修内容は主にプールの撤去、屋根工事、空調設備、トイレ洋式化等である。なお、アスレチック設備等は企業の負担となる。

反対討論

コロナウイルス対策予算には、飲食店や町独自の小規模事業者への支援等がない。また、Wi-Fi基地の追加に問題があると考え反対する。

小川 文子

反対討論

国の第2次コロナウイルス対策補正予算で、町では南昌グリーンハイツをアスレチック施設に改修するということが、コロナ対策になるのか疑問。他の対策もあると考えられるので反対する。

昆 秀一

中州・雑物除去の場所は

質問 河川中州除去と河川雑物除去の場所はどこを予定しているか。

回答 中州除去については、国の事業債や交付税措置など有益な事業であるため、逆堰を5年かけて行いたい。

また、雑物除去は主に向田川、新川を状態の悪い場所から草刈り等を行っていく予定。



アスレチック施設に改修される南昌グリーンハイツ

みなさんからの請願

▽教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請についての請願者

岩手県教職員組合
いわて盛岡支部
支部長 栗田 裕年
山崎 道夫
紹介議員

厳しい財源のなか、独自財源で人的措置を行っている自治体もあり、自治体間の教育に格差が生じることは大きな問題であり、全国どこでも一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であります。以上のことから、本請願の主旨は理解できるものとして、採択すべきとした。

反対討論

岩手県は県内小中学校を35人学級に推進し全て完了した。この取り組みは、国における標準を大きく上回り教職員定数改善に寄与している。また、教育費国庫負担割合は地方6団体から全額廃止の要望があったものを、国は3分の1を堅持した経緯があることから意見書の提出に反対する。

小笠原 佳子



学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積し、子どもたちの豊かな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況にあります。

ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、定数改善計画に基づく教職員定数改善が不可欠です。

▽政府に対し「緊急経済対策として消費税率5%への引下げを求める意見書」の提出を求める請願者

岩手県商工団体連合会
代表 関沢 淨
盛岡民主商工会
代表 藤沢 光一
藤原 梅昭
谷上 知子
川村よし子
紹介議員

反対9・賛成8

不採択

審査意見

請願審査意見報告書は「消費税率10%への引き上げと新型コロナウイルス感染症が町民の暮らしに影響を及ぼしている。消費税率5%への引き下げにより個人負担を軽減し、誰もが安心して暮らせる社会を目指すことが重要であり本請願の趣旨は理解できる。」という内容でした。

反対討論

消費税率引き上げ分は、幼児教育・保育の無償化、就学支援、低所得者の介護保険料軽減等の財源に充てられてお

り、消費税率を5%に戻すことは現在の社会保障政策を維持することが困難になることから採択に反対する。

小笠原 佳子

発議案

令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、国に対し要望する意見書提出の発議がありました。

内容は次のとおりです。

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

「新型コロナウイルス感染症の拡大は甚大な影響をもたらしており、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたくなっています。

地方自治体は、福祉・医療、教育・子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要

への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ今後の地方財政は、かつてない厳しい状況になることが予想されることから次のとおり要望します。

- ① 地方税、地方交付税等の確保・充実。
- ② 地方交付税の総額確保。
- ③ 減収補填措置を講じ地方消費税を含め弾力的な対応。
- ④ 税収の安定的体系の構築。国税・地方税の政策税制の整理合理化を図る。新設・拡充・継続は、有効性・緊急性等を厳格に判断する。
- ⑤ 固定資産税制度の根幹を揺るがす見直しは行わない。コロナ対策で講じた特例措置は本来国庫補助金等により対応すべきであり期限で確実に終了すること。

各議案の採決状況

令和2年定例会 7月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		藤原 信悦	吉田 喜博	小笠原佳子	谷上 知子	村松 信一	廣田 清美	高橋 安子	水本 淳一	赤丸 秀雄	昆 秀一	藤原 梅昭	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		山崎 道夫	廣田 光男	高橋 七郎
第54号	一般職の職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
第55号	令和2年度一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
第56号	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可
発議案第4号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	可

令和2年定例会 9月会議

第57号	教育委員会の委員の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第58号	固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第59号	矢巾SⅠC関連町道安庭線道路改良その3工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第60号	盛岡広域都市計画矢巾町特別業務地区建築条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第61号	令和2年度一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	可
第62号	令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第63号	令和2年度介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第64号	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第65号	令和2年度水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第66号	令和2年度下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第67号	令和元年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第68号	令和元年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第69号	令和元年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第70号	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第71号	令和元年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第72号	令和元年度水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第73号	令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第74号	令和元年度下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
第75号	令和元年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第76号	令和2年度一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第77号	町道中央1号線道路改良その7工事請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第78号	矢巾町新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給等基金条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第79号	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第5号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決

注：藤原由巳議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと

ズバリ 町政を問う

紫波地区中学校新人大会（ハンドボール女子）

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

9月会議では下記の内容について10人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●昆 秀一 議員 …………… P17

- ①誰もが幸せに、よりよく生きることを目指して
- ②誹謗中傷をしない、させないために
- ③農業と食
- ④次世代を担う若者に対する支援をどうしていくのか

●赤丸 秀雄 議員 …………… P19

- ①小中学校における課題と教育のあり方
- ②町内公共交通の利用実態と町民の移動手段確保の考え
- ③コロナ禍における飲食業支援
- ④交通指導隊の現状

●山崎 道夫 議員 …………… P21

- ①新型コロナウイルス感染者家族の一時預かり体制の構築
- ②コロナ禍における保育現場の環境改善
- ③ヤングケアラー支援の取り組み

●藤原 信悦 議員 …………… P23

- ①産学官共同プロジェクトと地区計画制度による企業誘致事業の進捗
- ②第7次総合計画前期基本計画の評価と後期基本計画の策定
- ③学校ネットパトロール

●川村よし子 議員 …………… P25

- ①少人数学級
- ②高齢者の介護・医療
- ③公園内の除草剤使用

●村松 信一 議員 …………… P18

- ①空き家の有効活用及び問題点の対応
- ②新型コロナウイルス感染症の影響を見据えた、本町における令和3年度当初予算編成の基本的な考え

●小笠原佳子 議員 …………… P20

- ①行政サービスにおけるICT（情報通信技術）の活用
- ②子宮頸がんワクチン予防接種の周知
- ③ごみ問題

●高橋 安子 議員 …………… P22

- ①防災安全対策
- ②火葬場移設
- ③徳丹城を中心とした観光事業

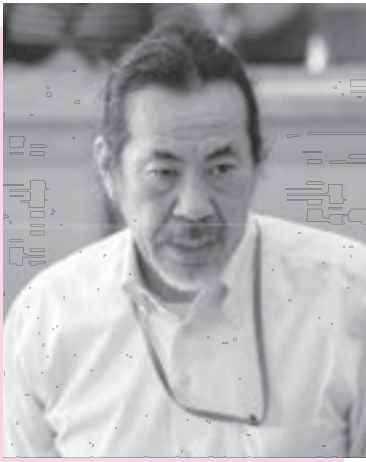
●藤原 梅昭 議員 …………… P24

- ①自然災害等への当町の対応状況
- ②ウイズ（with）コロナ時代での今後の町政の在り方
- ③教育環境の充実
- ④道路ネットワークの整備

●小川 文子 議員 …………… P26

- ①スーパーシティ構想
- ②ICTを活用した授業
- ③保育園・児童館のコロナウイルス対策
- ④避難所の運営

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。
詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。



こん 昆 秀一 議員
（一心会）

旧矢中跡地を農業公園に 跡地活用の一案として検討

質問 農業公園は自然とのふれあい、園芸、造園、農業の理解と食育を目的としたレクリエーションの場として整備されている施設のことである。旧矢中中学校跡地にこのような農業公園を整備しては。

町長 旧矢中中学校跡地については、現在検討委員会や議会からの意見を聞いている最中であるので、その一案として検討したい。

質問 農業は、私たちの体を作る食にかかわるものである。まちづくりを進める上での農業のあり方は。

町長 農業はまちづくりに欠かすことのできない重要な産業と捉えている。



駐車場に利用されている旧矢中中学校校舎跡地

心のケアに 対策を

関係機関と連携し 相談対応

質問 心のバランスを崩された

た方への今後のケア対策は。

町長 福祉課で随時対応しているほか、関係機関や専門機関と連携を図り支援体制の構築に努めている。

質問 心の病気の予防も含めた社会の理解の図り方は。

個人への誹謗や 中傷の対策は

強い姿勢で 誹謗中傷を戒める

質問 ネット上での個人への誹謗中傷などの対応は。

町長 ネットに限らず、デマや流言による個人への誹謗中傷が非常時において発生しやすくなることから、強い姿勢により個人への誹謗中傷を戒める発信を行なっていく。

質問 町には顧問弁護士がいる。今後はネットで法的な対応も必要になってくると考えられるので、そのような体制は整えられているのか。

町長 体制は整えられていないが、ネットについての対応が増えてくるのが考えられるので、弁護士会等と相談していきたい。

町長 町ホームページや、やはラヂにより周知し、広く理解啓発を行っている。

一般質問 町政を問う

来年度の予算編成の考えは 減収予想により厳しい状況



むらまつ 村松 信一 議員
(矢巾明進会)

質問 新型コロナウイルス感染症により、令和2年度の各種町税の見込みをどう捉えているか。

町長 法人町民税・たばこ税・入湯税は今年度後期から影響が出てくると思われる。個人町民税は令和3年度に影響が見込まれると考えている。

質問 新型コロナウイルス感染症対策のため、テレワークの導入に町独自の支援策を設け、移住促進を図ってはどうか。

町長 テレワークに移行する企業が増え、地方移住への関心が高まっている。就職・移住関連のイベント等を通じ移住支援・創業支援補助金を周知活用し移住に結びつけたい。



破損箇所がある矢巾北中テニスコートの人工芝
(早期の修理が望まれる学校設備)

質問 本年度の各種行事は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や延期、時間短縮、簡素化などにより実施したが、このことにより、行事の必要性を考える契機となった。今後について再構築し必要な行事を厳選してはどうか。

町長 これまで慣習化された事業について、有益性や開催手法について協議がなされた。参加者や従事者の満足度が高い事業を検討し実施に努める。

質問 景気・雇用の悪化が予測されるなか、税収は厳しい

状況が考えられる。令和3年度の予算編成をどう考えるか。

町長 令和3年度は町税・地方交付税・地方譲与税・地方消費税交付金など大幅な減額が予想される。

当初予算は緊急性、必要性を考慮し経費を抑制した予算編成に取り組む。

農地付空き家 下限面積は

農地取得要件の 緩和を検討中

質問 農地付空き家の農地取得要件、いわゆる50坪面積要件を引き下げる検討の進捗状況は。

町長 下限面積の引き下げなど農業経営に係る情報を農業委員会との間で共有している。

質問 所有者、管理者と連絡の取れない空き家はあるか。

町長 所有者・管理者と不通となっている空き家は68件ある。納税関係等を確認しながら改善に努めたい。



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄
(一心会)

学校の課題と教育の在り方は GIGAスクールに向け準備中



通学児童を安全誘導する交通指導隊員

質問 GIGAスクール構想の導入時期は。

また、全小中学校同時期の活用は可能か。

教育長 来年4月から全児童・生徒にタブレット型ノートパソコンを貸与して、活用できるように準備を進めている。

質問 教師等の研修体制と文部科学省推奨の機能を備えた端末機手配などの準備状況は。

教育長 研修は学校の長期休暇中に行う研究大会での実施を計画している。

端末機は授業で利用しやすいタイプ、耐衝撃・長時間用バッテリー等を考慮したもので検討している。

町内公共交通 運用改善は

利用者増に向け 改善していく

質問 乗降場所を増やし、東西エリア乗り入れなどの改善をしたが利用者が少ない状況である。

住民本位の移動手段確保の観点から、抜本改革を望む。

町長 調査・ヒアリング等で町民の声を運行に反映し、一定の成果が出ている。

また、交通不便地域の公共交通が確保できていると認識するが今後のPRに努めていきたい。

飲食業支援に ついて

さまざまな支援策の 周知を図る

質問 県・町内で感染者が発生し売り上げが減少しているが、早急な支援の考えは。

町長 国・県が実施している飲食店向けの支援策を商工会と連携しながら周知を図る。また、地域経済の活性化策に資する施策に取り組む。

交通指導隊の 活動支援は

活動内容を検討

質問 交通指導隊員の高齢化により欠員が出ている。活動回数や交通整理など業務の見直し、また出勤回数に応じた手当が必要では。

町長 指導員の意見を聴き、活動しやすい環境づくりが必要である。交通整理を外部委託するなど内容を検討する。

行政サービスでICTの活用は マイナンバーカードの推進で



おがさわらよしこ
小笠原佳子 議員
(公明党)



マイナンバーカードの普及が望まれる

一般質問 町政を問う

質問 コロナ禍のICT（情報通信技術）を活用した、行政手続、住民サービスについての取り組みを伺う。

町長 マイナンバーカードの利用により住民サービスの向上に努める。

マイナンバーカードは住民票や印鑑証明書、戸籍、税関

係の証明書がコンビニで交付可能である。

コロナウイルス感染症緊急経済対策として特別定額給付金の申請手続きに活用された。

質問 マイナンバーカードの町内での交付枚数と交付率は。また、周知と普及の具体的な取り組みについて伺う。

町長 交付枚数は7月末で4419枚、交付率は16・2%。国では健康保険証の機能を持たせ、運転免許証としての活用も検討されており、交付件数の増加が見込まれる。

子宮頸がん 予防接種周知 個別通知を実施

質問 子宮頸がんワクチン予防接種の周知は、接種者の体の痛み等の健康被害のため、国では積極的な勧奨を中止している。

そのため接種率が1・59%まで下がり、罹患するリスクは定期接種導入以前に戻って

いるが、正しい情報提供をどう考えているか。

町長 中学1年生の女子を対象に、学校を通じて定期接種の個別通知をしている。

厚生労働省のリーフレットを同封し、ワクチンの意義・効果と接種後に起こり得る症状について伝え、家庭での接種の判断をお願いしている。

高齢者の ゴミ出し支援

ニーズ調査し
支援事業を検討

質問 独居の高齢者についてごみの排出支援はあるか。

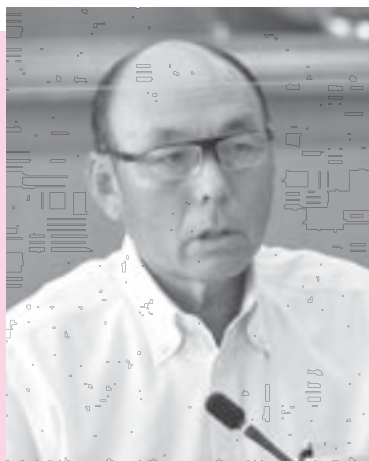
町長 昨年度高齢者のゴミ出し支援のニーズ調査をしたが、対象となる方は認識されなかったものの、支援事業を検討している。

質問 生ゴミの燃えるゴミへの混入を防ぐため、専用の植物由来の袋を導入しては。

町長 袋の価格等、ゴミの出し方についてさまざま検討する。

コロナウイルス感染発生時の対応

県が主体的に対応する



やまぎさき 山崎
みちお 道夫 議員
(一心会)

質問 同居する介護者や保護者がコロナウイルスに感染して入院するなどし、要介護者や障がい者、18歳以下の子どもの世話が出来ない場合、その家族を一時預かりする体制を整えるべきと考えるが、対応策を示されたい。

町長 指定感染症のため、個人情報保護等から、町が感染者や家族状況などを把握することはできず、県が対応することになっている。

したがって町が直接、感染者や家族の生活支援等を行うことが出来ない状況となっている。

質問 感染が疑われる症状を感じた場合、「帰国者・接触



消毒作業を行うシルバー人材センター派遣者（煙山保育園）

者相談センター」に連絡し、指示を受けるといった方法でいいのか。

町長 その通りである。また、必要によりPCR検査を受け、陽性の場合には指定医療機関に14日間入院し治療することになる。

質問 軽症や無症状の場合、自宅療養を勧められるため、全国的に家庭内感染が増えていく。

その対策として町内の宿泊施設等を利用できる体制の整備が必要では。

町長 濃厚接触者以外の家族

への支援策として、利用できるセーフティネットの構築に向けた整備を検討していく。

保育士の働く環境改善を

保育士の負担軽減に努める

質問 保育現場は3密が避けられず、クラスター発生リスク回避のため、徹底した消毒作業などで、保育士の負担になっているのではないかと。

教育長 換気や消毒、3密を避ける対策に力を入れており、特に消毒作業については、シルバー人材センターからの派遣などで対応し、保育士の負担軽減に極力努めている。

質問 保育士の勤続年数は全国平均で7・7年と短く、給与等も全産業と比較し、2万円以上も低い。待遇改善に力を入れるべきでは。

教育長 町としても県や国に対し、機会あるごとに待遇改善を要請していく。

本町の防災安全対策は 地域防災力の底上げを



たかはし 安子 議員
(町民の会)

質問 近年、豪雨や台風災害が続く本町の防災訓練はどのように実施するのか。

町長 自主防災組織活性化モデル事業として二つの地区を対象に研修会などを開催する予定。また、すべての地区の自主防災組織を対象とした避難所の開設訓練も実施する。

質問 災害時犠牲となりやすい高齢者や障がい者の「災害時避難行動要支援者台帳登録制度」への登録状況は。

町長 対象者は、1,297人。うち本人の同意を得ている方は254人。本年度からは避難行動要支援者情報管理システムの本格運用を進め、地域防災力の底上げを図っていく。



田んぼアートで観光振興を図る
(写真提供 岩手町田んぼアート実行委員会 2019)

火葬場移設と 公営墓地は

第8次総合計画で 検討

質問 現在の火葬場ができて

から30年以上経過しており、人口も大幅に増加した。近隣は住宅地になっているが、今後移設の考えは。

質問 これからの社会情勢において、お墓の継承者が減少し、お墓の在り方にも行政の対応が必要となる。永代供養も含めた公営墓地についてアンケートを実施し、第8次総合計画に入れる考えはないか。

町長 延命化を図る予定はあるが、施設自体の老朽化を考慮した場合、移転の有無を含めて検討していく必要がある。

徳丹城跡周辺に 田んぼアートを

観光振興の 取り組みの一つに

質問 徳丹城は今年から5カ年計画で遺跡の復元や周辺整備を進めている。

史跡近辺は田園地帯であり「田んぼアート」に取り組む考えはないか。

町長 現在のところ計画はないが、今後実施の際は、ドローンでの撮影や櫓の設置なども検討し、観光振興の取り組みに努めていく。



ふじわら 藤原 信悦 議員
(町民の会)

企業誘致の推進について

第1立地候補者が決まり誘致始動

質問 地区計画制度による企業誘致事業の進捗は。

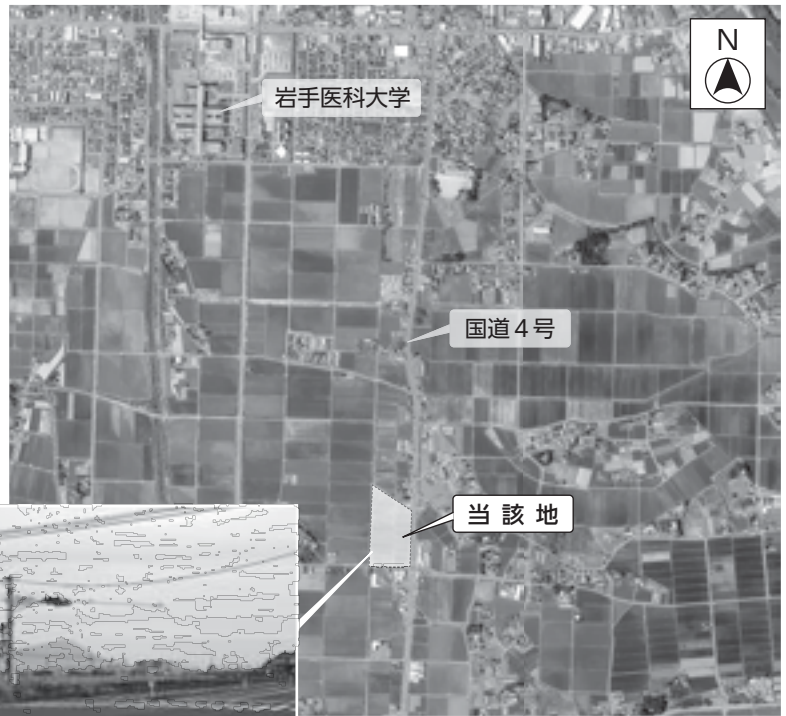
町長 問い合わせがあった中の1社から立地申し込みがあり、書類審査等を経て第1立地候補者とした。

コロナウイルス感染症拡大等により先が見えない状況ではあるが、令和7年度までに3地区の誘致完了を目指す。

質問 産学官共同プロジェクトの具体的な取り組み状況は。

町長 共同研究による新規プロジェクトの立ち上げには至っていない。

今後、新たに経営者育成につながる共同プロジェクトを中小企業同友会と取り組んでいく。



地区計画制度の今回予定地 (間野々地内)

総合計画策定手法について

PDCAサイクルの確立を目指す

質問 第7次総合計画前期基本計画の評価進捗状況は。

町長 9月中に報告書で議会に説明するとともに、町のホームページで公表し、意見は後期基本計画の推進に活かす。

質問 特別委員会が意見要望した「PDCAサイクルの確立」のために、業務フローを見直す考えはないか。評価を

月次で行い、都度、計画の修正等を行う方法もあるのでは。
町長 実績評価と計画策定の間にタイムラグがあることが問題である。
広く意見を伺いながら、計画策定の在り方全般を見直し、望ましいPDCAサイクルの確立を目指す。

学校ネットワークパトロールは運営体制等の確立に努める

質問 具体的な実施内容と体制並びに発生事案の件数は。

教育長 職員が対応しているが、体制や手法がまだ確立していない。また、確認事案はないが引き続き手法を検討して発見に努める。

質問 学校ネットワークパトロールの町民への周知は。

教育長 児童生徒や保護者への周知とあわせて行う。
また、コミュニティスクールにおいても周知を行う。

一般質問 町政を問う

※ PDCA : Plan (計画)・Do (実行)・Check (評価)・Action (改善) を繰り返すことで業務を改善する方法のこと

「気候非常事態宣言」の予定は 宣言し温暖化への意識付けを



ふじわら 藤原 昭 議員
うめあき 梅昭議員
(一心会)

質問 自然災害の要因である地球温暖化を防ぐための「気候非常事態宣言」の予定は。

町長 近く宣言し、広く町民の皆さんに対し地球温暖化を防ぐ意識付け・取り組みへの協力を求めています。

質問 町内一級4河川の改修と煙山ダムの改修進捗状況は。

町長 岩崎川と大白沢川は改修実施中。太田川は測量設計実施中、各河川において中州などの浚渫を実施する。

煙山ダムは、令和6年までに堆積土砂の浚渫、放流ゲートの更新などを実施。

質問 北上川水害想定危険区域の防災対応等の見直しは。

町長 町内全ての自主防災組織の意見を聞きながら、避難体制の見直しと、避難行動の整理を行っている。
北上川浸水想定区域を踏まえたインターネット版ハザードマップを作成している。



平成 25 年 8 月に発生した大雨被害 (矢幅駅東側)

コロナ禍での 町政は

新しい生活様式を
踏まえた体制で

質問 ウイズ（共生） コロナ

禍での町の業務体制は。

町長 職員に感染者が確認された場合でも、業務停止やサービスの低下を最小限とする事業継続計画を定めている。今後は慣習化されてきた事業においても、イベントの有益性や開催方法を検討し、有意義な事業の開催に努める。

コロナ禍での 学校対応状況

学習の遅れは
全て取り戻した

質問 コロナ禍での学習遅れ及び各種行事の対応状況は。

教育長 授業の遅れは、1学期に取り戻した。
行事は2学期に延期し、運動会等の行事はコロナ対策を行いながら全ての小中学校で実施する予定。

質問 子育て支援としての学校給食無償化の考えは。

教育長 財政状況を鑑み、実施の可能性について検討する。

公園内の除草剤使用について

正しい用法で使用する限り 健康への影響はない



かわむら
川村よし子 議員
(日本共産党)

質問 町内の公園に除草剤が使われているということ把握しているのか。

町長 64あるコミュニティ公園の管理は所属する各自治会に委託している。

公園の状況については町が定期的に見回りを実施し、現状把握に努めている。

質問 除草剤散布により健康被害を心配する方もいるので、公園内の除草剤の使用を規制する考えはないか。

町長 市販の除草剤は正しい用法に沿って使用する限りは健康には影響ないと考える。

除草剤の使用は規制できないが、自治会には正しく使用するよう注意喚起する。



訪問看護サービスを行っている「結いの手」

高齢者への 訪問サービスは

コロナ禍の中でも
サービスは継続

質問 高齢者は、コロナ感染の不安から在宅生活が続ぎ精

神的ストレスがあるが、在宅高齢者の訪問看護・訪問介護はどう考えているか。

町長 厚生労働省の「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について」等に基づき感染防止を徹底し、サービスの提供を継続していただく。

少人数数学級の 実現を

教員の所管は
県教育委員会

質問 コロナ禍で3密を避けた授業はどのように行われているか。

教育長 エアコンを併用し教室の窓を開け空気を入れ替えを行い、マスクの着用とともにに行っている。児童生徒が全体で集まる回数を減らし、構内放送も活用している。

質問 コロナ禍の中で個々の距離基準は守られているか。低学年の30人以上のクラスは何クラスあるのか。

また、分割する考えはないのか。

教育長 衛生管理マニュアルの距離基準は1m間隔である。34人は1クラス、33人クラスは1クラスある。クラス分割は、教員の増員が必要であり、教員の増員は県教育委員会の所管である。

スーパーシティ構想検討状況は 実現可能性の高い構想を目指す



おがわ 小川 議員
ふみこ 文子 議員
(日本共産党)

質問 スーパーシティ構想は、個人情報や行動等大量のデータが企業に二元的に集積・分析される。

個人のプライバシーが守れるのか危惧される。その後の検討状況は。

町長 内部検討作業を継続し、実現可能性の高い構想内容を目指している。

質問 住民投票の実施が示されたことをどう受け止めるか。

町長 区域指定後に基本構想に対し町民等の合意を得ることが基本と認識している。

質問 町提案に公共交通の自動運転があったが、そのためには5Gが必要と考えるが。

町長 現時点で自動運転の実現に5Gの通信環境が必須かは判断できない。

質問 公共施設に設置予定のWiFi基地局は、電磁波の影響を受けると考えるので保育園を避けるべきではないか。

町長 安全に配慮し設置する。

コロナ禍

保育士負担は

消毒はシルバー人材センターで

質問 保育士に感染予防作業の負担はないか。また特別手

当の考えはないか。

教育長 消毒はシルバー人材センターの派遣で対応し、負担軽減をしている。町独自の特別手当ては考えていない。

質問 徳田・北川保育園のエアコンは0〜1歳児のみに設置されているが、他の保育室の今後の対応は。

教育長 設置されていない2歳児以上の部屋にも、今年度中に全て設置される。

避難所の見直しを

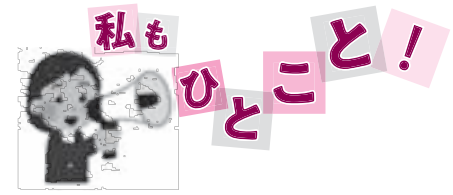
公共施設を
基幹避難所に

質問 近年の災害は想定を超えている。各自治公民館が指定避難所になっているが、量・質とも足りない。小学校等の公共施設に避難物資を備蓄し避難所にできないか。

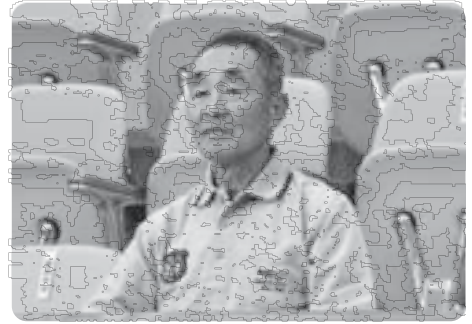
町長 自主防災組織の意見を聴きながら見直しを行っており、公共施設を基幹避難所とし備蓄品の充実を進める。



各自主防災会の代表者による段ボールベッドの組み立て訓練



わかりやすい言葉で議論を



かわむらひろみち
川村博道さん (東徳田2区)
(写真撮影のためマスクを外していただきました)

単身赴任24年。現役時代は矢巾町の変化を感じることもなく過ごしてきましたが、退職後、地元の議員さんから議会の傍聴を勧められ、以来、10数年議会を拝聴しております。議場では活発な質疑が交わされておりますが、一部の議論の中でカタカナ言葉や役所用語が登場する場面があり、専門用語など分からない私にとっては「何について、どのような議論しているのか。」

と、戸惑うことがあります。時間の制限などであろうかと思いますが、町民にわかりやすい言葉と表現で議論をお願いできればと思います。新型コロナウイルス感染症拡大の終息がまだ見えない状況ではありますが、町当局、そして議会議員皆さまにおかれましては、お体をご自愛いただき、町の発展と福祉向上のまちづくりを祈念いたします。

追跡

過去に質問したことがどうなっているのか調査しました

あの質問はどうなった

矢幅駅に
ピアノ設置の考えは

(平成31年3月会議)

質問 駅ピアノは、誰でも自由に弾ける常設ピアノである。矢幅駅に駅ピアノを置いてはどうか。「音楽の町やはば」宣言をした矢巾町にふさわしい企画と考えるが。

実現に向けて検討

回答 JRとの協議が必要。「やはばーく」などの施設に設置も考えられる。今後、関係機関と協議し、実現に向けて検討する。

現在は



誰でも気軽に弾ける駅ピアノ
(矢幅駅東口インフォメーションコーナー)

矢幅駅東口に
駅ピアノを設置

○「音楽のまち」にちなみ矢幅駅東口のインフォメーションコーナーに誰でも弾けるピアノを設置 (令和2年9月)

議会からのお知らせ

まちの人



矢巾町青少年健全育成町民会議

おがさわらえりこ
会長 小笠原栄利子さん (下赤林)



森山パストラルパークに山ゆりの苗を植栽する

青少年の育成と
山ゆりの花を楽しむに

平成31年の「女性のつどい」終了後に、同会場で女性のつどい参加者と議会との懇談会がありました。参加者に緊張を感じさせない進行で、私は町の花であるはずの山ゆりの花が激減していることを提案させていただきました。

矢巾町青少年健全育成町民会議には、本年度で26回となる「山ゆり賞」の表彰事業があります。青少年が心身ともに成長する大切な時期に、永年にわたり健全育成に尽力された町民の地道な努力に対する敬意と感謝の表彰です。花言葉は莊厳であり、まさに100年先を見据えた、忍耐も伴う地元による人材育成の取り組みです。

切に思っていた町民の方から、その種を提供していただきました。

その結果、本年7月15日、森山パストラルパークに苗床を作り、幼苗約100本を白沢行政区の方々を中心に植栽しました。

種から開花まで5年程度要し、さらには環境適応の管理をしながら、森山から始まり以前のように町内の野山に清楚な白い大きな花を咲かせてくれることを期待します。

今後は、町民の皆さまと「青少年の育成」と「山ゆりの花」を、もう一つの花言葉でもある「人生の楽しみ」として絶やさぬよう大切に守り育ててまいりたいと願います。



〇表紙に寄せて〇

コロナ禍の中、生徒の健康や安全に配慮しながら開催された矢巾中学校大運動会。

組団応援で

は、どの組団も大きな声で、動きにも工夫があり迫力あるパフォーマンスでした。



あ と が き

新型コロナウイルスにより、令和2年度の議会行事も少なからず中止を余儀なくされております。また、「町民と議会との懇談会」も今のところ開催の目途が立っておりません。この禍が早く終息することを願っております。

編集委員長 水本 淳一

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

委員長 水本 淳一

副委員長 廣田 清実

委員 藤原 信悦

吉田 喜博

小笠原佳子



古紙配合の再生紙と植物油インキを使用しています

《ご意見はこちらまで》

E-mail : gikai@town.yahaba.iwate.jp

いわてやはば議会だより214号

令和2年10月16日発行